

『鈴虫の飼い方』

容器は？

1. 容器は、縦横20cm×30cm、深さ20cm程度のプラスチック製水槽(市販)を用意する。(大きい方がよい)
2. 海苔の瓶でもよい。

土は？

1. 細かな土で、乾燥しても、固まらない土を選ぶ。
2. 市販の「鈴虫マット」は、便利で、勝手がよい。
3. 「鈴虫マット」は深さ3～5cm程、入れる。

容器に入れる物は？

1. 隠れ場所や居場所として、素焼きの鉢のかげらや木切れを入れる。(トンネルにする)
2. 成虫になるまでに数回脱皮をするので、休める場所を用意する。

餌は？

1. 一番、ナスを喜ぶようである。ナスは切って、串に刺し、土に触れて、かびたりしないようにする。
2. ペットボトルのキャップ等に、鯉節や雑魚など動物性の餌をやる。
3. 市販の「鈴虫の餌」でもよい。
4. 時々、水を掛け、土を湿らせる。水を掛けすぎると、餌がかびる。

置き場所？

1. 直射日光が当たらない所がよい。
2. 臭いや湿気が気になる場合は、室内を避ける。

雌雄の違いは？

1. 成虫になると、硬い羽があるのがオスです。羽をこすり合わせて、8月中下旬頃から綺麗な音色で鳴く。
2. 産卵管があるのがメスです。10月頃になると、土の中やマットに産卵する。

越冬は？

1. 産卵前には、オスを食べる。(弱っているオスや死んだオス)
2. 卵は白色で、細長い2mmほどである。
3. 翌年、6月下旬に幼虫が孵化する。孵化させるためには、水槽の保管に気をつける。
 - ①水槽等の口を、若干通気性のある新聞紙をかぶせて、紐でくくり、土やマットが乾燥しないように、時々、水を掛けておく。
 - ②水を掛けるのを忘れてしまうと、卵が乾燥して、死んでしまうことがある。